Pタイル、長尺シートコーティングシステム



- 1. 開発背景
- 2. 商品説明
- 3. 特 長
- 4. 写 真
- 5. データ
- 6. 今後の方針

1. 開発背景

知っていますか?

WAXでの管理では 環境にも悪影響。 そして、建物も 駄目になっていきます。



WAXは水に溶け、汚れが 染み込みます。 その上にWAXをぬると、 汚れを抱き込んで だんだんと汚れていきます。 そして、ついに 汚れは限界に達し、剥離を しなければ どうしようもなくなり 一大決心、 オーナーにも施工者にも負担の 建物にも環境にも悪影響の 剥離をします。

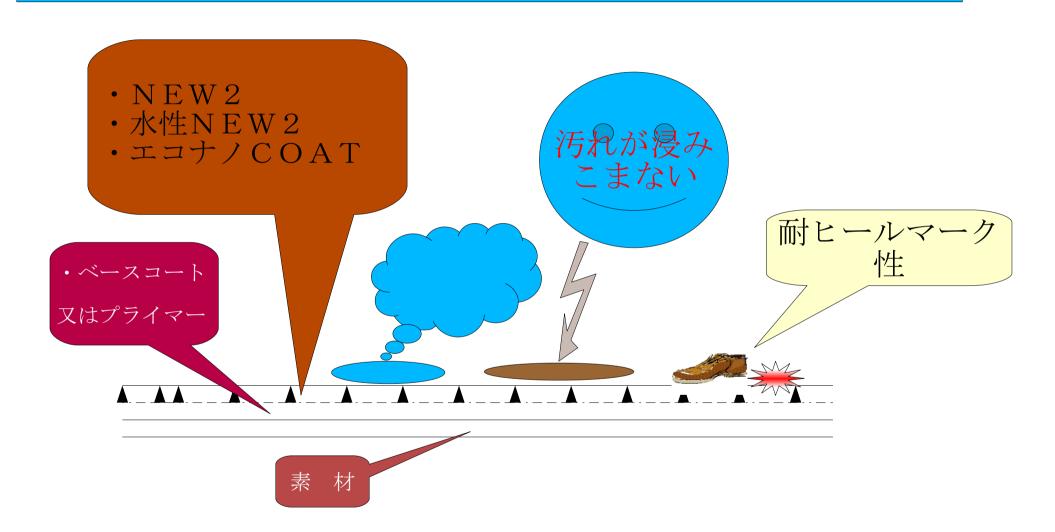


水に溶けない、 汚れがしみこまない メンテナンスが楽な コーティング剤の開発

2. 商品説明

- 1. 床用剥離剤・・・シリコーンコーティング専用剥離剤
- 2. ベースコート・・水系の下地剤で、トップ剤の吸い込みによるムラの防止、光沢の向上、接着性の向上
- 3. 床用プライマー・密着の悪い床剤での接着剤として使用する
- 4. NEW 2 ・・・ Pタイル、長尺、フローリング-シリコーン コーティング剤、高光沢、高耐久性、防水性、防汚性
- 5. 水性NEW2・・高光沢、高耐久性、防水性、防汚性、フローリング、 (水性ポリウレタン) Pタイル、長尺シートに使用できる
- 6. エコトップ・・・トップコートとして使用、バフの必要なし
- 7. リスタシャイン・リスタコート全般の洗浄、被膜保護剤
- **エコナノCOATシリーズ・・浸透して硬化するので、耐久性、 防汚性、耐ヒールマーク性が高い メンテナンス剤として、エコナノWATER、ミスト・アドがある。

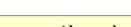
3. 特長···防水·防汚·抗菌·脱臭効果



4. 写真

NEW2







エコナノトップ



エコナノコート

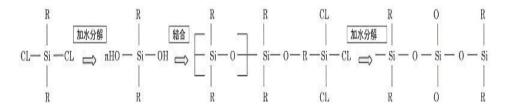


5. データ-1

データシート

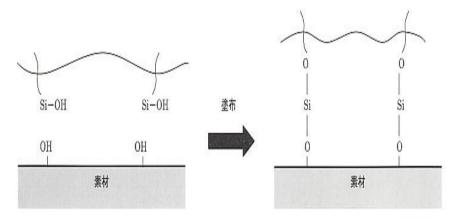
リスタコート (被膜型) 1・2・3のデータシート

○塗膜造膜メカニズム



シリコーン樹脂

三次元架橋



(モデル図)

リスタコートは素材により結合方法(密着性に大きく関与する)が変わります。

石材 (大理石・ミカゲ・タイル等) → シロキサン結合・ファンデルワースカ 木材 (フローリング・木材系外壁) → ファンデルワースカ・投錨効果 金属材 (アルミ・ステンレス・スチール) → ファンデルワースカ・水素結合 ブラスティック・ピニル → ファンデルワースカ・水素結合

〇各種性能試験

1. 試験項目

- ①付着性(基盤目法・基盤目テープ法)
- ②鉛筆引っかき値
- ③耐湿潤冷熱繰り返し性
- ①塗布後表面硬度経時値

2. 試験片

合成樹脂製床材(P9イル・長尺シート)2種類に無色透明塗装処理したもの(リスタコート1・2・3)を長さ65mmの正方形に切り取り試験片とした。

〇試験結果

①付着性(基盤目法・基盤目テープ法)

1) 装置

試験片上の塗膜を貫通して、素地面に達する切り傷を基盤目状につけるために東洋精機製 作所製クロスカット剥離試験機を用いた。

2) 装置の運転条件

50gのウェイトを選定し、切り傷の隙間間隔は1mm、マス目の数は100となるように装置を運転した。

3) 基盤目法

2) で試験片の途膜につけた基盤目状の傷について状態を観察した。

4) 基盤目テープ法

3) の観察後、セロハン粘着テープを基盤目の上に貼りつけ、瞬間的に引き剥がして基盤 目上の傷について状態を観察した。

試験結果

基盤目法および基盤目テープ法を、各3枚について試験した結果、全ての試験片で欠損は見られなかった。

5. データ-2

②鉛筆引っかき値

1) 試験用鉛筆

日塗検検査済鉛筆引っかき値試験用鉛筆〈三菱鉛筆㈱UNI〉を用いた。

2) 試験方法

試験片に対し約45度の角度で鉛筆を持ち、芯を塗面に強く押しつける手かき法で行なった。

試験結果

塗面のすり傷で判断すると、リスタコート1は7H~8H、リスタコート2は4H~6H、 リスタコート3は4H~5Hと思われる。

③耐湿潤冷熱繰り返し性

1) 装置

塗膜が湿潤状態を経た後、湿度変化を受けた場合の塗膜の変化を調べるために㈱日立製作 所製恒温恒湿槽EC-10MHPSを用いた。

2) 装置の運転条件

サイクル試験の条件に表に示す。

ステップ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
湿度 (°C)	60	60	-20	-20	60	60	-20	-20	20	20
湿度 (%RH)	95	95			50	50		7522	65	65
時間 (h)	0	16	0	2	0	2	0	2	0	2

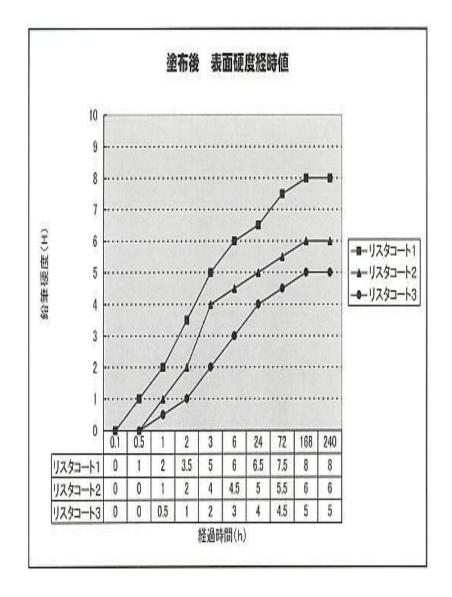
試験結果

2サイクルで塗膜の割れ、剥離などの欠損は見られなかった。

4)塗布後表面硬度経時値

リスタコート塗布後、2001・2)の条件で鉛筆引っかき値(鉛筆硬度)を縦軸に、横軸に塗布後経過時間を示した。

(次ページ)



6. 今後の方針

ポリッシャーを立てて取ろうとするヒールマーク、汚れ、だんだんと変色していく床、そして一番いやな剥離、汚い仕事、汚れる仕事なのに利益が出ない、現状のWAXでの管理に限界、将来への不安を感じ、開発初めたWAXに変わるコーティング剤の開発、もっと楽に、もっと綺麗に、自分達も儲け喜び、施主様も喜ぶコーティング剤メンテを含むシステムの開発、究極の床用コーティング剤メンテナンスシステムを極めます。